

1 基本計画の概要

(1) 配置計画

- 庁舎棟：4階建、延床面積約5,000㎡
- 敷地内に高低差があるため、敷地西側(上段)に庁舎棟、敷地東側(下段)に附属棟、立体駐車場を配置
→ 来庁者がバス停(あけのアクロス側)からアクセスしやすい配置



(2) 新庁舎に求められる機能

①災害対応の拠点として機能する庁舎

- 津波浸水想定区域外への移転集約による災害対応力の向上
迅速な初動対応、中部地区災害対策本部の連携強化
- 災害対策本部の代替施設として活用

②環境に配慮した持続可能な庁舎

- 省エネ設備や太陽光発電等を導入し、「ZEB Ready」を達成
- 県産材を積極的に活用し、快適で質の高い空間を創出

③機能的で働きやすい庁舎

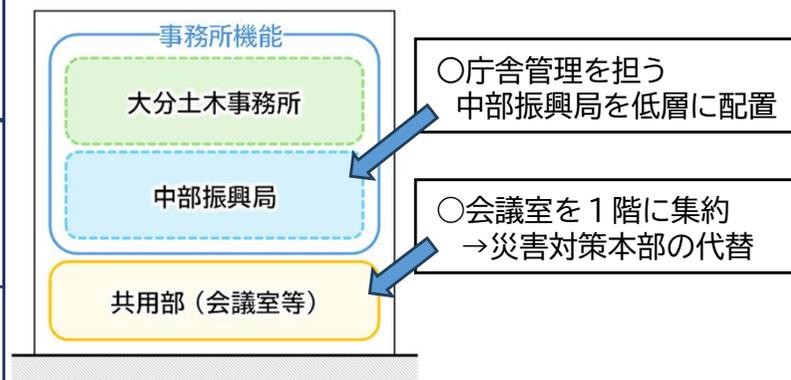
- オフィス改革の推進
- OAフロア化や多様な打合せスペースの設置

④県民に親しまれ、誰もが安心して利用できる庁舎

- 様々な来庁者が利用しやすいようユニバーサルデザインに配慮

(3) 階層構成

【階層構成イメージ】



2 令和8年度の取組と今後のスケジュール

